



第七六代生徒会会長
電気科三年 東 哲士



生徒会副会長
電子科三年 今牧 獅音



生徒会体育局長
電気科三年 国分 悠人



生徒会学芸局長
電気科二年 山田 庵璃

一年間を通して生徒会行事を無事成功させられたのは全校生徒の皆さんと先生方の力があつたからこそだと感じています。私一人ではとても手に負えない部分ばかりでした。心から感謝しています。私自身も活動の中でたくさんの人とのつながりを持ちたくさんの思い出を作らせていただきました。第77代は私たちを超える素晴らしい生徒会づくり期待しています。頑張ってください。最後に第76代の生徒会の皆さん本当にお世話になりました。生徒会長としての一年間は私の人生においての宝物になりました。

私が生徒会副会長としてここまでやってこられたのは間違いなく、生徒会の仲間のおかげです。正直私は会長や体育局長と比べると全然仕事なんてできません。ですがそんな私に彼らは友達として笑いながら接してくれました。これに私はとても感謝しています。後輩たちもいつも元気に接してくれてとてもパワーをもらいました。私はこんな環境に出会えてとてもうれしく思います。

約一年間体育局長として、甲府工業を盛り上げられるよう頑張ってきました。体育行事は球技大会をはじめ、すべて無事に終わることができました。この一年間で仲間とともに成長することもできました。今年度の生徒会活動へのご協力ありがとうございました。

生徒会学芸局長としてこの一年間生徒が楽しめるような企画、そしてスムーズに行事を行えるような運営をしてきました。学園祭ではコロナ前の本来の姿と同じようにして開催することができました。来場者様も多く見られこの甲府工業の学園祭を知っていただけたと思います。生徒の一生の思い出になるよう生徒会が一体となって準備、運営に取り組むことができたと思います。この一年間での行事を何事もなく行えたのは、生徒の皆さんが生徒会への協力をしてくれたおかげだと思えます。1年間生徒会にご協力いただきありがとうございました。

第七七代

生徒会四役の抱負

生徒会会長
電気科二年 新海 充生

先輩方が築き上げてきたこの素晴らしい甲府工業を、次の世代に繋げていけるよう頑張ります。総合体育大会では三年ぶりとなる総合優勝を目指し、生徒会行事では今までよりもさらに良い行事づくりを目指し球技大会、五葉祭などの生徒会行事を生徒会一丸となって取り組んでいきます。今後とも、生徒会へのご協力よろしくお願いいたします。

生徒会副会長

機械科二年 柏原 季緒

今年度の生徒会活動を経験し良いとこや、悪いところなど見直し、改善していき今よりさらに良い生徒一人一人が楽しめる学校行事にしていきたい。甲府工業の伝統を来年、再来年と引き継いでいくとともに新しいことにも挑戦し甲府工業をさらに盛り上げていけるようにしていきたいです。

生徒会体育局長

電気科二年 望月 夏希

私たち第77代生徒会は昨年度の甲府工業よりも盛り上げ、コロナ前のような活気を取り戻すために努めていきます。体育局長としては、体育祭や球技大会といった、体育局での行事を昨年度よりも盛り上げていき、生徒全員が楽しいと思えるよう尽力していきたいです。

生徒会学芸局長

機械科一年 田野口 真侍

先輩方が引退し、第77代生徒会役員の一員として活動していく中で生徒一人一人が楽しいと思える学校を築き上げることを目標に活動をしていきたいと思えます。

今年の一、二学期を通して、この学校の良い面や改善すべき部分を見つけてきました。それを踏まえて今までよりも学芸局をより発展させていけるように頑張ります。

令和6年度
部活動・委員会
紹介

陸上駅伝部

中島 健登



陸上駅伝部は、技術向上と体力強化を目指し、毎日の練習に真剣に取り組んでいます。短距離走、長距離走、跳躍、投擲などさまざまな種目があり、各種目での専門的な指導を受けながら、個々の能力を最大限に引き出しています。練習は厳しく、時には体力的に辛い瞬間もありますが、仲間と共に支え合い、励まし合いながら乗り越えています。その中で、仲間との絆が深まり、チームワークの大切さを実感することができます。また、定期的に行われる大会では、自己ベストの更新を目指して全力を尽くし、競技に臨んでいます。このような経験を通じて、競技力だけでなく、人間としても成長できる環境が整っています。陸上駅伝部では、仲間との信頼関係を築きながら心身ともに成長できる場所です。

弓道部

田代 大成



所です。これからも目標達成に向けて全員で切磋琢磨し、さらに強いチームを作り上げていきます。挑戦し続ける姿勢を大切に、前進し続ける陸上駅伝部です。

私たち弓道部は、7月から新チームとなり2年生9名、1年生7名計16名で活動しています。16名の内女子部員が6名と運動部の中では多い方だと思っています。今年度はなかなか結果を残すことができませんでしたが、上位大会に出場することができました。3年生が引退して新チームとなり、10月に行われた新人戦では団体戦でベスト8でしたが、個人戦では関東大会に出場して7位入賞しました。

剣道部

山本 桐生



私たち剣道部は月曜日を基本オフとした週六日間格技

た。顧問の先生方は未経験ながらより部内の環境を良くするために熱心に指導してくれています。また、弓道の経験がある保護者が練習を見学に来た時には、アドバイスをしていたことができるが多々ありとても感謝しています。

この弓道部を支えてくださっているたくさんの方々の想いに報いることができるよう結果を残していきたいです。

サッカー部

坂本 龍我

私たちサッカー部は、11月に新チームとしてスタートしました。昨年、総体では6

場にて活動しています。部員数は1年生6名、2年生4名の計10名で関東大会やインターハイ出場を目指して稽古に励んでいます。

また、普段は顧問である内藤先生の指導の下稽古を行っていますが、日曜日の稽古ではOBの先生方や先輩の指導をメインとした稽古を行っています。土日祝日は練成会や、県外大会などに出場して少しでも格上の選手と戦えるよう経験を積んでいます。

私たちは小中学生の頃あまり目立った成績を残せていない選手が多い中で、今年引退した先輩には国スポ山梨代表の中堅として出場し佐賀県で開催された本戦でも活躍された先輩もいました。一つ上の代の先輩にこのような目標にすべき先輩がいるためその後に続くことができるように、毎日部内で切磋琢磨して県トップの成績を収めることができるよう努力しています。



位という結果を残すことが出来ましたが、総体以外の大大会ではベスト16を超えることが出来ませんでした。昨年私たち1、2年生の多くは2部リーグで戦いました。2部リーグでの試合は年間を通して勝利することが出来ませんでした。そんな力のない私たちですがやるからには結果を残したいと思いました。そこで私たちは今年度、カップ戦ベスト8以上、1部リーグ昇格を目標に設定し、スローガン「奮励努力」を掲げ、1日1日の練習を大切に目の前の一勝を掴み取れるようにしたいと思いました。力のない私たちが今年の目標を達成するためには日々の練習から真剣に取り組んでいくことが大切になると思います。試合勝ち、いい景

山岳部

横内 誠大

色を見るためにも厳しい練習でも手を抜かず全力で取り組んで行いたいと思います。年間を通して、辛い時期などもあると思いますがそんな時も仲間と助け合い、支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れず戦っていきたいと思います。

私たち山岳部は登山を中心に、様々なアウトドア活動を行っています。登山以外にも、ボルダリングやカヌー、スキーなども行っています。登山活動では、日帰り登山や、山でテントを張って過ごすこともあります。

普段の練習では、長時間山を歩くために必要な持久力をつけるためのランニングや筋力トレーニング、山で必要な知識を付けるために座学も行っています。また山岳部も高校総体に参加します。体力審査、学科審査、天気図審査、幕営審査等を経て、今年は2位に入賞することができました。この結果は日頃から練習を積み重ねてきた部員全員や、後輩に技術をこまめに伝えてくださった先輩方の成果だと思います。

山岳部に入部する人はほとんどが初心者ですが、体力や知識を付けることで誰でも楽しく活動することができます。山では仲間との思い出を多く作ることが出来ます。皆さんも山岳部で貴重な体験をしてみませんか？



自転車部

前田 基

私たち自転車競技部は、部の伝統を守り、チームを牽引してくれた先輩方が引退され、2年生4名1年生5名の新体制で部活動を開始しました。私たちを牽引してくださった部長をはじめ、3年生が教えてくださったことを忘れずに、日々の練習に生かしています。先輩方は選抜大

会やインターハイなどで上位の成績を収め、名を残してきました。私たちも先輩方のように選抜大会やインターハイで上位の成績を残せるように頑張ります。

今年度、インターハイや、合宿を通して他県の強さを実感し、自分たちに足りないものや課題を発見し、自分たちにとって成長できる年になりました。新年度は、インターハイや国民スポーツ大会などの大舞台で表彰台に乗ることを目標として、頑張っていきたいと思っています。また、甲府工業だけでなく、山梨県全体の選手がより高い競技力で戦えるように、互いに高め合って日々の練習に取り組んでいきます。



柔道部

中村 那偉斗

今年の抱負は、「柔道の技術と精神を磨き高校生活の集大成に向け成長をする」ということです。私は、中学生から柔道を始め高校二年となった今、技術面でも精神面でもさらに成長したいと目標を持ちました。これまでは先輩方が部活を引っ張ってくれていましたが今は、自分が部長の立場になり後輩もできて頼られる立場になりました。だからこそ、私は先輩、部長として柔道を通して精神面の向上、技術を磨き部活で活躍できる選手になり



お世話になった先生や親に少しでも恩返しできるよう、努力に努めたいと思います。そのためには、練習では仲間との協力を大切にし、お互いに高めあえるような雰囲気づくりをしていきたいと思っています。さらに冬場の体づくりを通して基礎体力をつけたら、怪我をしない強靱な体を作ったりと大会に全力で挑める環境づくりも頑張りたいと思います。そしてインターハイ出場に向けて、日々の限られた時間を大切にしていきます。

テニス部

小島 裕輝

私たちテニス部は、現在二年生六名、一年生八名の計十四名で活動しています。主に、関東大会出場を目標に日々の練習に精進しています。五月に行われた総合体育大会や十月の新人戦では、団体戦第三位と悔しい結果で終わりましたが、来年は結果を残してしまつた一方で、新たな課題も見つかり、さらなる技術力の向上や強い精神力を求め、チーム一丸となり取り組んでいます。現在は、来年度の総合体育大会に向けて、

さらに向上できるように意識し、冬にある、遠征、練習試合でも勝てるような練習に尽力しています。今年の悔しさを来年度の総合体育大会で晴らし、後の関東大会で結果を残していけるようなチームを作っていきます。また先輩方がそうであったように、心のもった指導をしてくださる先生方、協力してくださっている方々に支えられていることを忘れず、目標を達成していきます。

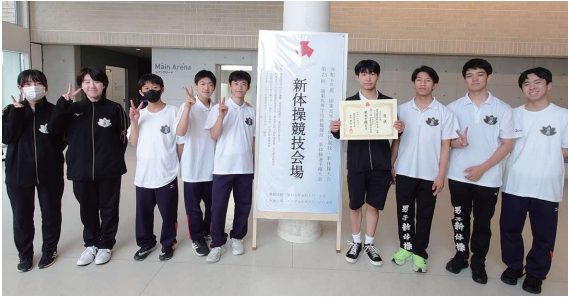


新体操部

木下 勇騎

私たち新体操部は、顧問の雨宮先生の指導の下、二年

生二名、一年生五名、マネージャー一名の計八名で、少ない人数ですが日々一生懸命練習しています。現在の部員は新体操未経験者が多く、バク転や宙返りなどのタンブリングも初心者なので、新体操の基礎やタンブリングの練習など、顧問や二年生の指導を中心に技術向上を目標に取り組んできました。昨年の関東大会では団体が六位となり、インターハイに出場できず悔しい結果となりました。本年の新体操部は団体でインターハイ出場を目標に、さらに練習の強度を上げて切磋琢磨して練習することをチームで反省して決めました。個々の技術向上のためには上手な選手の動きを



参考にする、積極的に挑戦を重ね努力すること。また、しっかりとした日常生活、整理整頓などの、凡事徹底にもチームで取り組む。これからも感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいです。

卓球部

甘利 直悠

卓球部は六月より新チームとなり、現在では二年生五名、一年生四名の計九名で活動しています。日々の練習時には「我々の目標はインターハイ予選で優勝すること」と目標を口に出し、練習に励んでいます。

昨年度は県総体、インターハイ予選団体二位と優勝をどちらも逃し、思うような結果を残すことができませんでした。そして、今年度こそはと強く思い練習をしましたが、またも決勝戦で敗れ、目標を達成することができませんでした。そして、私達の代になり最初の新人戦では、団体優勝することができましたが、新たな課題が多く見つかり、一人ひとりが改善と修正を行っている最中です。

来年度三年振りの団体戦インターハイ出場に向け、中沢先生の指導のもと合宿や遠征

など多く行い実力を付け、負けた悔しさを忘れずに努力していきます。また、卓球ができることへの感謝を忘れず、結果で恩返しができるように頑張りたいと思います。



ソフトテニス部

武井 悠

私達ソフトテニス部は一年生7人、二年生10人の計17人で団体戦の決勝に立つことを目標にして日々の練習に励んでいます。また、勉学にも一生懸命取り組み文武両道を目指しています。私達の部は部内でのコミュニケーションが盛んで、お互いにアドバイスを出し合いながら改善点やペアとの考えの共有ができるように工夫しています。普段の練習では、試合で使うサーブのような基本的な技術を



バスケットボール部

塩島 琉仁

私たちバスケットボール部は、顧問の飯嶋先生のもと二年生八

徹底してできるようにしています。また、部員が希望する練習も取り入れ、弱点を無くして武器を育てるようにしています。試合形式の練習では、練習したことを意識しながら楽しんで取り組むようにしています。また、試合でしかできない駆け引きやその瞬間ごとの判断が正確にできるように常に考えながらプレーするように意識をしています。これから大会も増えていくので自分たちで立てた目標に向かってチーム全員で向かっていこうと思います。そして、残り少ない時間を無駄にしないように全力で取り組み悔いの残らないような結果を出せるよう頑張っていきます。



名、一年生十五名で日々の練習に取り組んでいます。昨年は「ベスト8」という目標を持ち、数々の試合に臨みましたが、思うような結果で終われずとても悔しい思いをしました。三年生が引退して新チームになり新たに「ベスト4」という目標を掲げ練習に取り組んでいます。バスケットボールは、個々のスキルやチームワークなども大切ですが、日々の日常生活や整理整頓も大切だと思います。強豪校は挨拶や練習、試合中のベンチもとてもきれいで、当たり前のことを当然にしています。それに比べて私たちはまだ未熟なので応援されるチームになれるように当たり前のことをしていきたいです。最後に、感謝の気持ちも忘れずにチーム一丸となって、目標であるベスト4を目指し頑張っていきたいです。



バドミントン部

石原 健之介

我々バドミントン部は、10名という少ない人数で部員一人一人が各自で目標を掲げ、日々の練習に励んでいます。昨年度の新人戦では、思うような結果が出ず非常に悔しい思いをしました。しかし、その悔しさを糧により一層部活動に精を出して取り組んでいます。また、遠征や練習試合を行うことで、現状よりもさらに技術の向上を目指しています。実力をつけ、試合に勝利することも大事ですが、バドミントン部ではチームの雰囲気も大事にしています。今年度の目標として、先輩方が守り抜いてきた団体戦二位という結果を残すだけでなく、私学に一矢報いることを目指したいと考えています。そのためには一分一秒を大切に、チーム一丸と

バレーボール部

望月 翔太

甲府工業のバレーボール部では、技術向上と仲間とのチームワークを大切に、目標である春高山梨県予選決勝出場を達成できるように毎日の練習に取り組んでいます。練習では、基礎練習から試合形式の練習まで、顧問の先生の指導や、仲間同士で教えあいながら個々の能力を最大限まで高められるように励んでいます。時には体力的、精神的に辛い時期もありますが、仲間と共に励ましあいながら乗り越えています。その中で仲間との絆が深まり、仲間やチームワークの大切さを実感することが出来ます。部活動を通じて、技術向上はもちろん、仲間との絆や礼儀、あきらめない心を学ぶことができます。部員同士の仲も良く、練習前や練習後では笑顔が絶えません。時には厳しい場面もありますが、全員が同じ目標に向かって頑張ることで大きな成長を感じることができ



ハンドボール部

桐原 冬聖

私達ハンドボール部は、現在2年生が10名、1年生が11名、マネージャーが2名の計23名でチーム一丸となって日々活動をしています。主に練習は、学校のグラウンドまたは緑ヶ丘の体育館で行っており、生徒たちが主体となり話し合って練習メニューを決め、ひとりひとりが自身の課題に向き合い目標を立てて練習をしています。グラウンドでの練習では、主に体力づくりや基礎的な練習を行い、体育館では試合を想定した練習を行っています。ハンドボールはまだマイナーなスポーツなため知っている人は少ないです。実際、部員の半数以上が初心者であり、高校に入ってからハンドボールを知った人もいます。ハンドボールはとても楽しいスポーツなのでより多くの人に知ってもらいたいです。今現

ボクシング部

横溝 頼規

私たちボクシング部は、現在1年生5名、外部生1名、顧問の仲田先生と長田先生の計8名で活動しています。今年度の8月に3年生が引退し、2年生はいないため1年生のみの活動となっています。そのため入部し



在、私達ハンドボール部は新人戦、選抜大会ともに目標であったベスト4を達成することができました。総体ではベスト4、関東大会出場を目指し練習に励んでいます。

て1年足らずで自分たちで部を背負って活動することに不安も感じていますが、これまで先輩方が作り上げてきたものを壊さず発展させていきたいと思えます。日々の練習では仲田先生と長田先生の指導のもと基礎を大切にしながら新たな動きを取り入れ、試合で戦えるような技術を身に付けるための練習を行っています。

今年度行われたインターハイでは全国の人たちと戦っている先輩方を見てとても強い憧れを持ちました。これから多くの苦しいことや大変なことがあると思いますが、先輩方に少しでも近づけるようにひとつひとつ乗り越えて行きたいと思えます。

ボクシングはチームスポーツではなく個人スポーツです。ですが部活の仲間とお互いに刺激し合い体の強さだけでなく心の強さも鍛えて行きたいです。また日頃支えてくださる方々に感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていけます。



ラグビー部

小尾 歩夢

私たちラグビー部は花園出場を目指し2年生5名、1年生13名で日々活動をしています。昨年の秋に行われた花園の山梨県予選では日大明誠と試合をし、惜しくも敗れ悔し涙をしました。そして11月の頭から新チームで新たに活動がスタートしました。前まで3年生の背中を追って練習をしてきていましたが3年生が引退してから上手いかない事があったり、ミスが多くなってしまうたりと改めて3年生の偉大さに気づきました。敗北した悔しさをバネにして、「チームでの勝利」を目標に日々練習に取り組んでいます。10月の花園予選に向け、強く結束したチーム作りを目指していきたいと思えます。

私達ラグビー部は「勝利のピラミッド」があります。根底にある学校生活、支えてくれている人への感謝、これを土台とし勝利まで繋がる土台を形成しなければ結果には繋がりません。周りの人の期待を裏切らず、勝利に向かって一人一人が努力していきたいです。



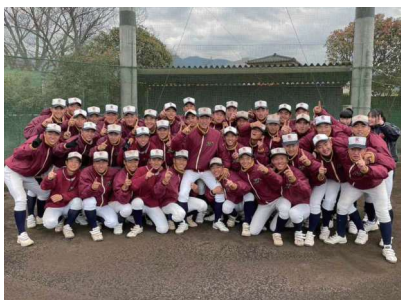
野球部

雨宮 悠人

私たち野球部は、昨年夏の選手権大会2回戦で日本航空高校と対戦し、力及ばず悔しい結果となりました。

夏休みには新チームがスタートしました。秋季県大会を制し、関東大会で2勝以上の成績を上げ選抜甲子園に出向してもらえよう日々練習に励んでいました。しかし、県大会準々決勝で山梨学院高校にあと一歩及ばず、選抜出場の夢は途絶えました。

「甲子園で校歌を歌う」が高校入学からの選手全員の目標です。入学後、甲子園に行けるチャンスは5回、残されたチャンスは夏の選手権1回のみです。甲子園に出るには並大抵の努力では行けません。今まで以上にチーム一丸となり、厳しい練習を全員で乗り越えていく必要があります。



甲府工業野球部を応援、支えてくれる全ての方々への感謝を胸に、目標である「甲子園で校歌を歌う」を実現できるよう、日々精一杯頑張ります。

ギター部

今井 千晴

私たちギター部は、「楽しくギターに触れる」をスローガンに掲げ、音楽室にて日々活動を行っています。ギター部では、学年やクラスを問わず、部員同士の交流が深く、とても仲が良いです。活動としては、自分が弾きたい曲を練習するという形となっており、意欲的に練習に取り組むことができ、挫折しにくく続けやすいです。何より、弾けるようになった時の達成感はいくら知れないもので、もっとギターを弾きたいと思えます。

主な行事は、県民文化ホール



で行われる「芸術文化祭」器楽管弦楽部門と、本校体育館で行われる「五葉祭」の文化発表の2つの演奏があります。いつもは自由に練習をしますが、行事に向けて、みんなで練習も行います。最初は上手く合わないこともありますが、成功するとても気持ちがよく、喜びや楽しさを実感することができます。

写真部

長田 綾乃

私たち写真部は、初心者が多いですが、写真からその時の感情や景色が伝わってくるような写真を撮ることを目標に活動しています。

写真部の主な活動は、学校行事の撮影、芸術文化祭の写真撮影と出展、季節ごとにある審査会の出展です。学校行事では、五葉祭やサッカー大会、卒業式など、皆さんの大切な瞬間をカメラで捉え、思い出を写真という形に残しています。来年の学校カレンダーには今年私たちが撮った写真が掲載されます。カレンダーを見て、「去年はこんな写真を撮ったな」「この時は楽しかったな」など、楽しい思い出

話で盛り上がりつつございます。

審査会では作品をプロの写真家に評価していただけます。四季折々の美を収めた写真が表彰されることもあります。部員の個性を生かした作品作りに取り組み、技術向上を目指しています。カメラの使い方や撮影技術を一緒に学び、楽しく成長できるように、活動しています。



茶道部

川崎 日向

我々茶道部は三年生一人、二年生二人、一年生二人の計五人で活動しています。週二回稽古があり、作法について学んでいます。水曜日には講師の先生が丁寧に教えてくださり、木曜日は先生から学んだことを復習する日となっています。稽古を通して作法のことのみならず社会に出る上で必要な様々なマナーや礼儀なども知ることができます。高校に入ってから初めて茶道に触れた部員も多く経験がない人でも気軽に始めることができます。和やかな雰囲気の中で学ぶことができる楽しい部活動と

なっています。

今年の学園祭では様々なトラブルがありながらも多くの先生方や同級生にお茶を振る舞うことができました。また芸術文化祭では他校の茶道部の生徒とお茶を通して交流することができました。来年度は様々な催しに全力で取り組み稽古の成果も発揮したいと思っています。また多くの作法を学び、丁寧かつスムーズにできるよう日々の稽古に励んでいます。



吹奏楽部

日原 瑠夷

吹奏楽部は11月に3年生が引退をし、現在は2年生9人、1年生9人の計18名で活動しています。顧問の植松先生、大木先生、渡辺先生の優しいご指導のもと練習しています。

私たちは今年度同様、夏の県コ



ンクールで山梨県代表として推薦していただき、さらには西関東大会で金賞の評価を得る事を目指して日々練習しています。日々練習の中で一番気にしていることは、皆と一つの音を奏でることです。一人一人の音が良くて周りと同じ音色、同じ息のスピード、同じ音の形、同じ音程ではないと音が混ざらず、一つの音に聞こえなくなってしまう。吹奏楽は個人競技ではなく団体競技です。誰かひとりでもミスをしてしまうとバンド全体に迷惑がかかってしまいます。最初の音一つでバンドのレベルが分かるほど吹奏楽はシビアな世界です。楽曲のイメージを整え、伝えたい意思を持ち、ミスのないように注意を払い、周りの音に寄り添いみんなで一つの音を作っています。そして楽曲を耳にしていたいた際に、そのイメージがしっかりと伝わったとき、音楽を介して幸せで充実した時間を過ごせると信じています。

私たち情報システム部は、電子科の一年生から三年生生徒のうち26名の部員が活動をしています。毎年五月に開催される県総体の得点速報のデータ更新や、毎年七月ごろから開催される「WRO」と呼ばれるロボットコンテストに2、3名でチームを作り出場し、世界大会を目指してロボットの製作や調整を行うことが主な活動内容となっています。

今年度のWRO関東大会では、甲府工業は6チーム出場し、結果は惜しくも全国大会へ届かない悔しい結果となりました。しかし、三年生の一チームが未来技術研究所特別賞を受賞することができました。

課題を達成できるように一からロボットを作るのは難しく、少しの環境の変化で急に思い通りに動かなくなるため、ロボットが思い通りに動いたときの達成感や喜びはとても大きいです。来年度は全国大会入賞以上の結果を残せるよう取り組んでいきたいと思っています。



情報システム部

市瀬 蓮

美術部

平野 功也

私たち美術部は、火曜日と木曜日の午後四時から午後五時まで、美術室で活動しています。限られた時間の中で、制作を楽しんでいます。普段の部活動では、部員で決めたテーマに沿って絵を描くなど、個人での製作をメインとしています。ですが、学園祭で大きな制作をする時は、全員で役割を分担し、協力しながら取り組みます。この部の魅力はいろいろなものがあります。まず、活動日と活動時間が短いので、部活動以外のことに力を入れることができます。学校外の習い事を続けることができました。クラブチームでのスポーツや、学校に許可を貰った上でのアルバイトに励んだりできます。また、絵を描くことが得意ではなくても、絵を描くことに興味がある人、絵を描くことが好きな人ならば歓迎します。個人では買えないような画材を美



術部として買えるので自分が作りたい作品を作れます。甲府工業の部活動の中でも自分の時間を取れて、楽しんで活動できる部です。

ハングル語研究部

白 昇翰

今年度私たちハングル語研究部は、コロナ禍によりなくなっていた、韓国の姉妹校である清州工業高校との姉妹校交流が再開され、十一月六日に交流をすることができました。午前中、学校で電子科がゲーム対戦をし、機械科はお互いの学校で作ってきたコマを使つての対戦をしました。また、お昼には山梨の郷土料理のほうとうを一緒に食べました。清州の生徒は味が濃いと言っていて、味覚の違いも実感しました。午後は一緒にボーリングをしました。ボーリングでは、グループごとに分かれて生徒だけでやつたため、会話をする時間ができたことでコミュニケーションを多くとることができました。会話で、清州の生徒も日本語を勉強してきていて、とても上手だったため驚きました。自分たちも、もっと勉強しなきゃなと改めて思いました。最後には、イオンモールで夜ご飯を食べ清州の生徒に案内をして、一緒にお土産を買い今回の交流会が終わりま

した。とてもいい機会だったと思います。



建築研究部

武井 優来

私たち建築研究部はコンペ班と大工班の二つの班に分かれて日々活動を行っています。コンペ班では、大学や専門学校、企業が主催しているコンペティションに作品を応募しています。作品テーマや、条件が決められています。世界で一つだけの建物を一から設計し図面し、真っ白な状態から自分で考えて設計することは難しいですが、やっただけ自分の身になり授業や将来に役立てることが出来ます。大工班では、ものづくりコンテストとよばれる木材加工技術を競う大会や資格取得に向けて日々練習に励んでいます。練習の際には実際に現場で働いている大工さんから御指導をいただき、技術の向上を図っています。若年者モノづくり競技では、全国大会出場を果たすことができました。

建築研究部では、建築科の授業では学ぶことのできない知識・技能に触れ、より、「建築」に深い造詣を得ることが出来ます。部員全員が良い結果を残せるよう努力します。

機械技術部

保々 佑醒

私たち機械技術部は日々の活動として技能検定の取得、備品修理、機械加工の技術の習得、ホンダエコマイレッジに向けた省エネカー制作の活動などを主に行っています。1年生では、仲間と協力して道具や物の作成、機械加工の基礎を学びます。冬には後期技能検定の取得に向けて実技練習などを行います。2年生では、旋盤やフライス盤などの機械加工の資格取得に向けた練習、2学期からは最終的な目的である省エネカーの製作を始めます。3年生では省エネカー製作を主で行い、鈴鹿サーキットで行われるホンダエコマイレッジに参加します。大会では、全国の工業高校と走行タイムと燃費を競います。その中でも良い結果が出せるように取り組んでいます。機械技術部では、資格取得や省エネカー製作など難しい事に自ら積極的に挑戦し甲

府工業生として技術を日々磨いています。これからもチャレンジ精神で活動していきたいです。



企画実行委員会

新海 充生

企画実行委員会では、2023年の夏から始めた甲府工業公式「ニコ」を2年生3名、1年生2名、教員2名の計7名で運営しています。各部や各学科などが撮影した素材をもとに中学生にもわかりやすいように編集したり、自分たちで企画を考えて先生などと撮影して投稿しています。また、学校行事などがあれば自分たちで撮影に行き、投稿することで甲府工業の魅力を発信しています。2023年の11月にはフオロワー数が1万人を突破し、先輩がいない状態で始まった活動もようやく安定してきました。令和6年度の新入生にアンケートを取ったところ、多くの人が甲府工業公式「ニコ」を見たことがあり、入学前に参考にしたという生徒もいると聞き、

とてもやりがいを感じています。また、再生数によってどんな動画なら多くの人に見てもらい、中学生が参考になるのかを考えながら投稿しています。学校がある日はほとんど毎日投稿しているので、時に辛く感じることもありすが、顧問の先生などと相談しつつ投稿する内容を決めています。これからも、甲府工業の魅力をより良く発信していけるように、工夫して活動していきたいと思っています。



放送委員会

小林 歩夢

私達放送委員会は、主に学校ホームページに掲載されているブログの更新や屋の放送、行事撮影中継、動画編集を行っています。年三回行われる放送コンテストに向けて番組制作、アナウンス・朗読の練習を行っており、第七十一回NHK杯県大会では、ラジオドキュメント部門「人手不足の壁を越えて」が奨励賞を受賞し、テレビドキュメント部門「Z世代のプロモーション」と校内研究発表「V

FXで表現を広げよう」が全国大会へ出場しました。

また放送部は、五葉祭、強歩大会、球技大会などの学校行事の際に見る、行事の概要を説明した動画の編集なども行っています。

来年度は、自分達の動画編集技術をメインに上げていき、演出や映像の見せ方について学びを深め、放送コンテストでの上位入賞を目指したいです。そして、その中で得た技術を活用し、少しでも学校行事を盛り上げて行きたいと考えています。



応援団

岩間 俊汰

我々応援団は、「勝てば選手之力、負ければ応援団の力不足」ともと部員20人で日々応援活動をしています。主な活動としては、各部の応援、各種壮行会や学校行事などでの応援激励、地域の行事への参加、援舞などがあります。今年度は金桜神社で

の奉納援舞もさせていただきました。様々な貴重な経験をさせていただき、充実した高校生活を送ることができています。

応援活動をしている中で、選手達が本気で頑張っている姿はとてもしっかり同じ工業生として誇りに思っています。選手達の背中を押し続けられるような応援、応援している方達も元気になるような応援をしたいです。そして、選手達それぞれが目標にしている「夢の舞台」、そこで全校生徒みんなで校歌を歌うために、我々甲府工業応援団も日々練習に励み精進してまいりたいと思います。今後も全校生徒一致団結して甲府工業高校を盛り上げていきたいと思います。



進路委員会

小池 雄大

進路委員会では、進路に関する資料の配布や求人票の整理などが主な活動内容になります。

1年生の時から所属はしていましたが1、2年生の頃はあまり仕事もなく3年生も簡単なものだろうと思っていた。しかし、実際に委員会の仕事をしてみるととても大変でした。特に大変なことは、何百枚もある求人票を進路室で受け取りコピーをして、各学科の職員室とクラスに置いてある求人票ファイルにファイリングすることです。

甲府工業は求人票が多く届けられるので一日でも怠るとすぐに溜まってしまいます。よって放課後はほとんど毎日求人票の整理を行っていました。大変な仕事ではありますが、その分良いこともありました。それは、先生方と進路について話をする機会が自然と増え、様々な情報を得ることができたことです。それによつて進路選択がしやすくなり、場合によっては先生方からちよつとした豆知識を教えていただけたこともありました。今は、この一年間を振り返つてみて、非常に有意義な委員会活動ができたのではないかと考えています。

環境委員会

清水 龍月

環境委員会では、主にゴミの回収・分別、ロッカーの整理を行っています。ゴミの回収・分別は学校内で発生したゴミを、環境委員が回収します。分別がいい加減なところがあるので、そのようなゴミ袋のなかから、可燃ゴミ、不燃ゴミ、ペットボトル、空き缶などに分別します。そこで、皆さんにお願いがあります。ゴミを捨てる時に少しでも気配りと思いやりをお願いいたします。可燃物の袋の中に、空き缶やペットボトル、中には飲み残しが半分以上もあるペットボトルが入っている時もあります。捨てる時は、しっかりと飲み切ることを意識してほしいです。私たちの分別作業は「もの」をゴミにするか、資源としてもう一度生まれ変わるか、「もの」の次の未来を決めることだと思つて作業しています。これらの活動を通じて、整理整頓をはじめとする5Sの力を身につけています。高校生のうちにこういった力を身に付けられる環境委員会に入ってみませんか。

図書・新聞委員会

小林 夢空

私たち図書・新聞委員会は、今年度の活動で、図書室の本の推薦ポスターを作成しました。私たちの推薦ポスターを

通して、全校の皆さんが図書室に行く目的を少しでも増やせるように、それぞれの委員が好きな本のおすすめポイントを表現しました。

私は今年度、『謎解きはディナーのあとで』（東川篤哉・小学館）の推薦ポスターを作成しました。ここで改めて推薦文をお伝えします。「刑事兼豪邸のお嬢様である宝生麗子が、豪邸の執事であり毒舌である影山に、推理を話して事件を解決していくストーリーである。『どのような推理をして、事件の真相にたどりつくのか』というのを考えながら読むのが、楽しく読める方法の おすすめである。」

学校の図書室には、魅力的な本がたくさんあります。司書の先生も本を探す相談に乗ってくれるので、図書室に足を運んでみてください。私たちのポスターが、皆さんが好きな本を見つける一助となれたら、幸いです。



保健委員会

遠藤 央都

私達保健委員会の主な活動は、感染症を防ぐための消毒や検温の呼びかけや毎学期初めに行われる身体測定補助活動がありました。どの活動も学校全体の病気予防に貢献することができ、保健委員としての発表として嬉しく思います。今年は、インフルエンザの流行も懸念されます。コロナウイルスが流行したことによりインフルエンザに対する免疫が低下していることが原因だと考えられます。また、高校生がインフルエンザの予防接種を受ける人が少なくなっているところも原因の一つだと考えます。それは、インフルエンザに対する意識が低下していると感じています。今年は去年よりもコロナウイルスが少しずつ落ち着き、昨年よりも感染症の意識が低下してしまっていると感じています。部活動などに支障がきたさないようにより一層消毒や検温などといった感染症対策を呼びかけるようにし、生徒皆の健康を守っていききたいと思います。

選挙管理委員会

武井 千

私達、選挙管理委員会の活動の中では、9月に行われる立会演説会と生徒会役員選挙がもっとも大きな行事になります。アプリを活用してのアンケート方式での選挙になったので、投票票の仕事は大幅に簡略化されました。準備の量も少なくなりました。仕事の量は少なくなっても、来年の学校の中心になっていく生徒会役員を決める大切な行事であることは変わらないので、責任感と緊張感をもって活動しました。大きなミスもなく無事に来年の生徒会役員を選出することができました。来年の甲府工業高校がどのようになるのか。不安に思う部分もありますが、全校生徒から選ばれた生徒会役員を中心により良い学校になっていくってもらいたいと強く思っています。私自身、3年間、選挙管理委員として活動をしてきました。3年目の今年、やっと委員としての仕事をやりきることができたと感じています。委員会活動が今後も責任をもって行われていくように頑張ってください。

規律委員会

山下 幸太郎

規律委員会は、学校生活が充実したものとなるよう、校内の規律を保つ役割を担っています。私たちの活動は、全ての生徒が安心して学び、成長できる環境を整えることを目指しています。

主な活動内容としては、月の初めにクラスの委員長を集めて月の目標を決め、クラスに目標を提示しみんなで心がけるように声をかけます。また朝ホームルーム前に登校したら旗揚げの作業も当番で回し行っています。

規律は、単にルールを守るだけでなく、相手を思いやり、自分自身を律する心を育てるものです。規律委員会は、生徒全員が互いに尊重し合い、より良い学校生活を送れるよう、これからも積極的に活動して行くと共により良い学校にできるように頑張ります。またこの先の規律委員会をもっと学校の中で活躍できるように期待しています。

交通安全委員会

大久保 響嬉

私たち交通安全委員会は、一

を守るためにヘルメット100%、事故0%という目標を立て活動してきました。皆さん1年間振り返ってどうでしたか？ヘルメットをつけて登校しましたか？事故はなかったですか？残念ながら4月から今まで事故が14件ありました。ヘルメットの着用はわずか60%程度です。皆さんヘルメットはなんのため、誰のために着用するかわかりますか？自分自身のためはもちろん、私たちを支えてくださっている先生方、友人、家族みんなのためだと私は考えています。私たち一人一人の命は自分自身のものだけではありません。今年度は目標を達成することができませんでした。過ぎてしまったからではどうすることも出来ません。今からできること、ヘルメットを被りましょう。そして来年は事故0%を実現させて下さい。私は、甲府工業生はやれば出来ることを知っています。大切な人のために事故0%にしましょう。

家庭クラブ

明石 美姫

私たち家庭クラブは、普段の家庭科の授業で学習したことを活かして、学校内や地域との生活をより良いものにすることを目標に活動しています。家庭科

の授業では、近くにある朝日幼稚園に訪問し、元気な子供たちと一緒に体験学習をさせていただきました。今年は昨年とは異なり、研究発表などはなく他校の発表を聞きに行きました。それぞれの発表者が家庭科の授業で習ったことや身近に起こった出来事をもとに解決策を考え自分なりに資料にまとめていて、勉強になることがたくさんありました。自分の日常にも役立つような内容もあり、生活習慣に関する内容のものは家庭科の授業では習わない細かい部分や実際に友達にアンケート調査に協力してもらい情報を収集していました。新たな知識を身に付けることができた貴重な機会でした。今年は目立った活動はしていませんが来年は自分たちが実際に学んだ知識を活用して学校や地域に役立つ活動を行ってみたいと思います。

